

事業所における自己評価結果(公表)

公表: 令和6年 4月 1日

事業所名 スマイルハウス にこちゃん

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	3	0	広々とした支援室なので、安全に遊ぶ事ができるが、密にならないようにしている	引き続き密にならないよう配慮していく
	2	職員の配置数は適切である	3	0	適切な指導員数を確保し、きめ細かな支援をしている	利用者に対応した職員数を確保し、より良い支援に繋げる
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	3	0	室内はバリアフリー構造の為、歩行に難があっても安全に過ごさせている	訓練の為、戸外には段差や砂利の箇所もあり、安全に十分な注意を払って支援していく
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	3	0	清掃と玩具類の消毒を徹底している	感染症の流行に留意し、更に換気も徹底して行っていく
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	3	0	職員間の連携を密にし、日々の利用者の様子を共有している	全ての職員が支援計画を念頭に利用者の支援を行い、より良い支援を心掛ける
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	3	0	保護者向け評価を実施して、意向等を把握し、改善に努めている	保護者の意向、評価内容に対し、改善内容等を検討。改善に努める
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	3	0	ホームページにて公開している	改善内容は保護者にも伝える
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	0	3		第三者による外部評価は行っていないが、必要な場合は検討する。
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	3	0	リモート研修可能な体勢が整えてあり、行っている	職員のスキルアップを目指して、必要な研修を受ける機会を確保する。職場内研修も実施する
適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	3	0	少なくとも6ヶ月に1回モニタリングを行い、保護者の意向や子どもの成長に合わせた計画を作成している	定期的なモニタリングに限らず、必要な場合はモニタリングを行っていく
	11	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	3	0	他の機関等で実施された結果を参照させてもらったりしている	保護者・他機関等との連携を計って、たくさんの情報を収集していく
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	3	0	児童発達支援ガイドラインに沿った支援内容から、個々の子どもの発達に合った必要な項目を選択し、具体化した支援を設定している	具体化した支援内容に沿って多方面からの支援を行い、支援内容の見直し等も視野に入れて業務に当たっていく
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	3	0	個々の支援計画を念頭において支援を心掛けている	職員同士の情報共有を行い、より良い支援を目指していく
	14	活動プログラムの立案をチームで行っている	3	0	全職員の意見交換を行い、活動プログラムを立てている	活動プログラムの立案・見直し等も職員全員で関わっていく
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	3	0	季節に応じたプログラムや歌、手遊びを取り入れている	子どもの興味を引き出したり、楽しさ味わえるよう工夫していく
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	3	0	子どもの状況を常に把握する事に努め、個別や集団、特性に合わせた計画を作成するようにしている	計画に沿った支援を実施しながら、常に子どもの状況に配慮する

事業所における自己評価結果(公表)

公表: 令和6年 4月 1日

事業所名 スマイルハウス にこちゃん

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
適切な支援の提供	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	3	0	ホワイトボードの活用や口頭での報告、連絡を行っている	ホワイトボードや共有ノートの活用により、全ての職員の情報共有を徹底していく
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	3	0	当日に行うのが難しい場合でも、ホワイトボードの活用や翌日に情報共有を図っている	ホワイトボードやノート活用。観察記録の確認等、全ての職員の情報共有を徹底していく
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	3	0	利用者の体調や様子、支援内容・反応等を観察記録に毎日記録している	日々の記録を検証・改善につなげる
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	3	0	6ヶ月毎に見直しを行っている	見直しが必要な場合は、6ヶ月を待たずに行うようにしていく
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	3	0	主に責任者が出席している	必要に応じ、現場の詳しい者も参加していく
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	3	0	保護者から情報を頂き、必要時は他機関と面談等を行っている	今後も保護者と連携をとって情報共有し、必要時は他機関とも連携していく
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	3	0	必要に応じて保護者を通して情報やアドバイスをもらっている。	保護者を通さなくても、必要な場合は関係機関とも直接連携していく
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	3	0	必要があれば保護者を通して連絡をとったり、直接電話でのやり取りもある。	保護者を通さなくても、必要な場合は関係機関とも直接連携していく
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	3	0	必要に応じて担当者会議を行ったり、子どもの様子、支援内容などの情報共有を行っている	引き続き情報共有・情報交換を行い、多方面からの共通の支援を行っていく
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	3	0	必要に応じて支援内容などの情報共有を行っている	引き続き情報共有・情報交換を行い、必要に応じ、担当者会議に参加したり、担任と連絡を取りあっていく
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	3	0	主に責任者が対応している	研修等にはできるだけ参加していく
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	3	0		コロナ禍で機会を作れなかったが、公共施設等の利用などの機会を設けていく
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	3	0	主に責任者が参加している	渋川広域の協議会に職員も出来る限り参加していく
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	3	0	送迎時には保護者とコミュニケーションをとっている。必要に応じて面談などを実施している	今後もきめ細かな対応をしていく
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	3	0	ペアレントトレーニングなどは行っていないが、いつでも相談に応じている。また、情報提供などを行っている	職員の研修等を通してより質の高い支援・情報提供ができるようにする
32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	3	0	入所時に主に責任者が対応している	重要事項説明書など入所時の契約書類と共に丁寧に説明していく。不明な点は質問に応じていく	

事業所における自己評価結果(公表)

公表: 令和6年 4月 1日

事業所名 スマイルハウス にこちゃん

チェック項目		はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標	
33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	3	0	保護者の方にモニタリングに協力頂いた上で、適切な計画を立て、同意を得ている	新年度より新しい支援計画書に改定になるので、その計画書に随時変更して、保護者の方に説明、同意を得ていく	
34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	3	0	モニタリングや面談等で相談に応じ、助言・支援を行っている	相談しやすい雰囲気づくりや関係性を築き、必要な助言、支援を行える体制づくりをしていく	
35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	0	3		保護者会は無いが、要望があれば検討する。また、保護者参加の行事も復活させ、行事後に親睦できる時間や場所を設ける	
36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	3	0	苦情相談等窓口を設置しており、体制は整えてある。相談等に迅速に対応している	保護者の方々に周知し活用してもらうよう促す	
37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	3	0	定期的な発行は無いが、必要に応じ発信している	今後も保護者の同意を得ながら、活動等の写真・動画を送ったり、ホームページ等も活用していく	
38	個人情報の取扱いに十分注意している	3	0	周知徹底している	文書等の個人情報の処理にも徹底していく	
39	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	3	0	口頭以外でも伝達できる対応をとっている	表情や言葉、動きなどからも察知できるよう関わっていく	
40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	3	0	招待する行事の実施が今年は設定されなかったが、近隣の方々が事業所に寄って利用者や職員と交流する機会があり、オープンである。	発表会や行事などで交流し、コミュニティの場として提供していく	
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	3	0	マニュアルは保護者全員に配布している	訓練の様子などを保護者に伝え、緊急時の避難場所など事業所としての対応を伝えていく。
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	3	0	あらゆる災害を想定し、定期的な避難訓練を行っている	いろいろな災害、緊急時に備えた訓練を行い、職員は常に意識を持つようにする
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	3	0	入所時に発作時の緊急処置方法について確認しており、直ぐに対応できるよう目に付きやすい場所に貼付してある 必要時の内服の仕方も保護者に確認している	日々の健康状態の確認も行っていく
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	3	0	事業所からの食べ物の提供はしていない。医師からの指示は保護者を通して確認している	必要な場合は緊急時対応フローを保護者と共に作成する
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	3	0	全員で共有できるよう回覧し、その後ファイリングしている	小さなヒヤリでも記入し、データの収集・分析を行っていく
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	3	0	研修会や委員会を開催、その内容は職員全員に周知徹底している	職員間で小さなことでも相談できる関係を築き虐待防止に努める
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	3	0	身体拘束適正化検討委員会は設置しており、研修会・委員会を定期的実施している	委員会を開催し身体拘束のための指針に従い、あらゆる手を尽くしてもやむを得ない場合には、手順に従って行う

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は事業所全体で行った自己評価です。